



Daiwa LifeNext®

大和ハウスグループ

2024年8月21日

報道関係各位

大和ライフネクスト株式会社

マンション管理を“ボードゲーム”で楽しく学ぶ！ 管理会社と大学が共同で『マンション管理ゲーム』を開発

大和ハウスグループの大和ライフネクスト株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:竹林 桂太郎)の分譲マンション総合研究所「マンションみらい価値研究所」は、明海大学不動産学部教授 小杉 学氏監修のもと、マンション管理を楽しく学べるボードゲーム『マンション管理ゲーム』を開発いたしました。(ボードゲーム製作・監修:株式会社ピチカートデザイン)



■開発背景

「マンションみらい価値研究所」は、マンション管理における研究および学習のさらなる発展を目的に、日本で唯一の不動産学部である明海大学不動産学部と連携し、学生向けの演習授業や社外向けセミナーの共同企画を行ってまいりました。

マンション管理の学習においては、区分所有法やマンション管理適正化法などの法律の知識、さらにはマンション特有のさまざまな仕組みに関する知識の修得が必要であり、特に学生や分譲マンションに馴染みのない人にとって入門時の高いハードルとなっています。

そこでこのたび、「マンションの理事会役員」を疑似体験しながら、誰でも楽しくマンション管理を学ぶことができる新たな学習ツールとして、明海大学不動産学部教授 小杉 学氏監修のもと、『マンション管理ゲーム』を開発いたしました。今後は社員研修や大学の授業、マンションに関連したイベント等で幅広く活用していく予定です。

※販売の予定はございません。

■『マンション管理ゲーム』の特徴

本ゲームでは、分譲マンションにおける約 40 年間のマンション管理を疑似体験することができます。プレイヤーはそれぞれ「マンションの理事会役員」となり、「住民満足度」と「資産価値」の 2 つの項目について、チームごとに合計 20 点満点を目指します。

1) 専門知識が無くても OK！遊びながら楽しく学べる

ゲームに必要な情報は全てカードに記載されているため誰でも気軽に参加でき、遊びながらマンション管理に関する知識に触れることができます。

2) 管理会社だからこそ分かる「リアル」を反映

どういった問題が何年目に発生しやすいのか、対応にかかるコスト、住民の反応などについて、40 年超の企業活動より得られた知見を活かし、より「リアル」に近い内容をゲームに反映しています。そのため、マンション管理の知識がある人でも楽しめる内容となっています。

3) マンション管理において重要な「合意形成」を体験できる

ゲームを進めていくと、理事会役員のなり手がなくなったり、積立金が不足したりと、実際に多くのマンションで起こっているトラブルと同様の問題が発生します。限られた人員・予算の中でどう対応していくべきかをチームで協議しながら進めていくため、マンション管理において重要な「合意形成」をゲームの中でも体験することができます。

■「マンションみらい価値研究所」とは

マンションの明るい“みらい”を考えます。



マンション管理会社では初となる総合研究所として 2019 年に設立。居住者の高齢化にともなう役員のなり手不足や、建物の高経年化・人件費高騰にともなう工事価格の上昇などを背景とした修繕積立金不足など、日本の「社会インフラ」となったマンションに存在するさまざまな問題を分析し、新たなマンションの価値創造に貢献するための調査報告を発信しています。

「マンションみらい価値研究所」ウェブサイト: <https://www.daiwalifenext.co.jp/miraikachiken/>

■会社概要

大和ライフネクスト株式会社

代表者: 代表取締役社長 竹林桂太郎

資本金: 1 億 3,010 万円

設立: 1983 年 3 月 8 日

所在地: 東京都港区赤坂 5-1-33

事業内容:分譲マンション、賃貸マンション、ビル・商業施設、ホテルなどの建物管理サービス、寮社宅のサブリース、オフィス移転サポートやコールセンター業務などの法人向けサービス

コーポレートサイト URL: <https://www.daiwalifenext.co.jp/>

以 上

<本リリースに関するお問い合わせ先>

大和ライフネクスト株式会社(総合不動産管理業)

東京都港区赤坂 5-1-33 TEL:050-1745-2233

連結経営企画部 e-mail:kouhou@dln.jp